

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	地域密着型トップスポーツチーム支援事業		
部 局 名	創造都市推進局	課(室)名	スポーツ振興課
		電話番号	087-839-2626

【事業全体概要】まちづくりの目標：心豊かな人と文化を育むまち

総合計画	政策	心豊かな生涯学習社会の形成		主体	市
	施策	スポーツ・レクリエーションの振興		期間	平成 20年度～平成 28年度
	基本事業	地域密着型トップスポーツチームへの支援		総事業費	178,809
	重点取組項目	重点取組課題 2		特定財源	国 10,510
	関連根拠法令等				
	事業区分	その他	種別	事中・事後	市債 12,933
	事業種類	単独			
				一般	155,366
事業の概要	本市から全国への情報発信を始め、市民のふるさと意識の高揚や、スポーツ振興を通じた市民の健康増進等を図るため、地域密着型トップスポーツチーム(複数の都道府県にまたがって活動するリーグに所属し、地域に拠点を置くプロもしくはこれに類したスポーツチーム)を支援します。				

【事業の目的と指標】

対象	地域密着型トップスポーツチーム (香川オーリーブガイナース、カマタマーレ讃岐、高松ファイブアローズ、香川アイスフェローズ)	対象指標名	地域密着型トップスポーツチーム数
手段	施設の優先使用、使用料の減額 練習・教室の施設使用料に対する補助、ホームタウン等への経費負担、ユニフォームへの高松市ロゴマーク掲載、ホームゲームでの優秀選手表彰賞品への経費負担、児童生徒等観戦誘致	活動指標名	施設優先利用回数
意図	地域密着型トップスポーツチームの認知度を高め、観客動員数の増加を図る。 地域におけるスポーツ教室の実施により、地域の活性化を図る。	成果指標名	地域密着型トップスポーツチームの市内での主催試合の観客数 地域密着型トップスポーツチームの市内でのスポーツ教室参加者数
結果	本市から全国への情報発信を始め、市民のふるさと意識の高揚や、スポーツ振興を通じた市民の健康増進を図る。	効率指標名	事業費 1万円当たり施設優先利用回数

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	チーム	4	4	4	4	平成 28年度
活動指標	回	681	1,052	1,046		平成 28年度
成果指標	人	65,000	49,000	104,000		平成 28年度
	人	3,500	3,200	2,200		平成 28年度
効率指標	回/万	0.242	0.378	0.636		平成 28年度
トータルコスト	[千円]	32,377	27,840	21,732		
(事業費)	[千円]	27,309	22,673	16,565		
(職員人件費)	[千円]	5,068	5,167	5,167		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
地域密着型トップスポーツチームの経営安定のため、行政への支援の要望とともに、地域密着型トップスポーツチームの活躍は、本市から全国への情報発信を始め、市民のふるさと意識の高揚や競技力の向上、スポーツ振興を通じた市民の健康増進など、幅広い効果が期待できる。	昨今の経済情勢や入場者数の停滞等により、チームの経営状況はより厳しくなっている。 地域での教室は盛況であり、貢献度は高い。	地域との連帯感の醸成、全国への情報発信として重要になる。 身近で高いレベルに接することができる地域での教室などは、貢献度は高い。	身近で技術の高いトップの試合を観ることができ、青少年に夢を与え、知域の活性化につながる。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か B 現段階では市による実施が妥当である 地域におけるチームの貢献度も高いので、当分の間は、市の関与は必要である。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか A 貢献度が大きい 身近で観れる高いレベルの試合や地域での教室などを通じ、本市のスポーツ・レクリエーションの振興に貢献している。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか B 必要性は中程度 チームが行う試合における誘客方針に関する協力要請や、高松ファイブアローズについては、新リーグ参戦要件を満たすための支援等の要望があり、可能な範囲で対応する。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか A 影響は大きい 市民が身近で高いレベルの競技を観る機会が減り、本市の競技力向上、賑わいづくり等の推進に影響が出る。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか） A 事業のプランづくりの段階からNPO、市民団体が参加している 地域密着型トップスポーツチームの試合運営等に市民ボランティアが参加している。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか B 向上余地が考えられる（中小程度） 市民と一体化してチームを盛り上げるため、ホームタウンデーやパブリックビューイングの開催を始め、新たなイベントを実施し、更なる誘客に努める。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか） A 実施済み / 実施する必要がなかった 香川県トップスポーツチーム活用協議会による選手等を地域行事等へ派遣する「地域密着型スポーツチームとの交流に関する事業」等の各種事業について、香川県と連携して支援を行っている。また、カマタマーレ讃岐については、誘客を図るために新規事業を行った。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか A 目標以上に達成できた 平成27年度における観客数・教室参加者数は106,200人となり、目標（63,000人）の168.6%となった。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか B 目標どおり達成できた 施設の優先利用、香川プロスポーツクラブ連絡協議会のPRイベント等の経費負担、ユニフォームの高松市ロゴマーク掲載料等の支援、児童生徒等観戦招待の経費負担等について、予定どおり実施した。
10. コスト縮減ができたか D 縮減できなかった より効率的かつ効果的な支援を行えるよう、香川県を中心に、県内他市町と連携を図りながら事業に取り組んでいるが、カマタマーレ讃岐の誘客に関する新規事業により、事業費が増加した。

【一次評価】

評価区分	継続																							
<p>トップレベルの試合観戦や応援等により、市民のスポーツへの関心や技術向上への意欲を高めるなど、スポーツ推進が図られるとともに、本市のイメージアップや全国に向けた情報発信、地域の一体感を醸成するために、トップスポーツチームに対する効果的な支援が必要である。</p>																								
改革案																								
内容	阻害要因																							
	期待効果																							
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

【二次評価】

評価区分	継続
<p>市民のスポーツ振興や地域の連帯感の醸成、全国への情報発信など、幅広い効果が期待できるとともに、本市のシンボリック的存在になる可能性がある団体を育成する事業であるため、引き続き効果的な支援を行う必要がある。</p>	